

平成26年度 第2回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成26年11月18日(火) 午後3時～午後4時40分
会場	中央公民館2階 集会室
出席者	上野会長、梅田副会長、松原委員、山田委員、中村委員、宮田委員、大鷲委員、高野委員、園川委員、長谷川委員 10名 松本教育長、増山教育部長 榎本次長(教育部次長兼生涯学習スポーツ課長)、鈴木係長(生涯学習振興係長) 加藤館長(中央)、倉石館長(東)、星野館長(西)、加納館長(南)、松永館長(北)、竹内館長(下蕨)、井田館長(旭町)、桑島係長(中央)、金子主事(東)、安部主事(中央) <合計>24名
欠席者	塘委員、菊池委員、中捨委員、秋山委員、小澤委員
添付資料	1: 地区生涯学習フェスティバル報告 2-1: 第3次蕨市生涯学習推進計画について 2-2: 生涯学習・生涯スポーツに関する市民意識調査 集計結果(速報) 2-3: 生涯学習・生涯スポーツ関連事業調査票 3: 協議事項(1) 青少年事業及び家庭教育事業について
会 議 内 容	
<p><公民館運営審議会> 午後3時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・上野会長あいさつ ・松本教育長あいさつ 3. 前回議事録の承認 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地区生涯学習フェスティバルについて 資料1に基づき、各公民館長から説明 <p>委員：南町では第一中学校生徒のボランティア協力があったということだが、どのようなきっかけからだったのか。</p> <p>南公民館長：学校の方から声掛けをいただいたことがきっかけであった。 昨年のはべ10人、今年は8人ほどに協力してもらった。</p> <p>委員：他の地区でもそのような展開があればと思う。</p> <p>会長：子どもたちを巻き込んだ活動ができればよい。</p> (2) 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年事業及び家庭教育事業について パワーポイント、DVD、資料3により、西公民館の小3キャンプなどの青少年事業や各公民館の家庭教育学級などを東公民館長、職員から説明 	

委員：このような情報を市民に提供することはできないのか。生涯学習・生涯スポーツに関する市民意識調査でも、公民館・生涯学習についてよくわからない、と答える意見もあったので、この会議だけの情報提供ではもったいないと思う。

東公民館長：今後、PRの仕方を検討していきたいと思う。

委員：先のDVDにある事業に参加できた子どもたちはよい体験ができたと思う。まとめ役になるリーダーがいると盛り上がってよい。

委員：児童館との違いとして、公民館は勉強の場ということがあげられる。小さな子どもを持つ親は講座という構成と構えてしまうことがあるので、お母さんたちが楽しむ場に講師を呼び、参加者に講座慣れをしてもらうとよいのではないか。

中学生になると公民館との関わりも減るが、錦町ジュニアリーダー活動は子どもたちを地域によくつなげていると思う。

委員：ジュニアリーダーは西小の卒業生が多いのか？長い歴史の中で地域と関わりながら続いているので感心だ。

教育部長：以前はジュニアリーダーは子ども会キャンプなどに派遣されたりと、各地域にあり、全市的に取り組んでいた。現在も青少年相談員によるジュニアリーダーズスクールを毎年行っている。

委員：waravvico（現在、市内で活動している青少年団体）のように現在でも地域活動を行いたい若い人たちはいる。そのような子たちに応えられる方法があればよいと思う。

・第3次生涯学習推進計画について

資料2-1、2-2、2-3に基づき、生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長から説明

会長：人々の生涯学習をつなげていくために第3次計画を策定し、行政の力の発揮を期待したい。

委員：錦町のジュニアリーダーの成功を他の地区でもできればよい。

中央館長：錦町は昭和56年に市の青少年育成モデル地区に指定され、大人が子どもたちの活動を応援しようと、居場所としての活動としてジュニアリーダー会が発足した。現在のジュニアリーダー会は、錦町独自の地域力があってこそその活動となっている。

委員：地元のリーダーが必要というが、そこに施策はないのか。仕組みはできないか。

中央館長：錦町ではPTAや子ども会育成会などで組織する青少年健全育成会があり、その会がジュニアリーダー会の活動を支えている。他公民館においてもぷちトマトくらぶやエコジュニアクラブ、いもっ子クラブなど地域の方々と特色ある事業を展開している。その点もご理解いただきたい。

委員：合宿通学参加者が中学生になっても手伝いができ、大学生になったら指導員として活躍できるような一つの道すじができる

良い。

事務局：錦町では合宿通学修了後に参加者に今後の手伝いをお願いする案内を送っている。また、合宿通学も14年経過し、年々かつての参加者が指導員となってくるケースが増えている。

委員：子育て事業等、公民館のHPの頻繁な更新を望みたい。

事務局：計画については協議する時間も限られているため、ご意見、気がついた点等あれば、委員が個別に生涯学習スポーツ課までご連絡を願う。

5. 閉会 副会長挨拶